

# 篠原宇月

Ugetsu  
Shinohara

心に積もるは君のしるし

Cafe  
musica 2

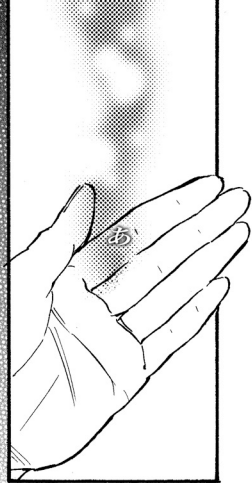
カフェ  
ミュージカ





じゃないな

雪



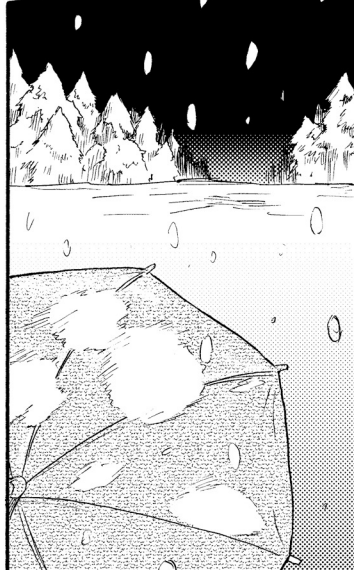
冬の手紙を  
読んでいるんだ

ああ、  
冬か。



サク

俺には  
積もらない  
だな



内容は  
わからない



言葉は  
意味を持たず  
ただの音のかけらだ

でも  
なぜだろう

悲しい  
気持ちがある

伊乃里？

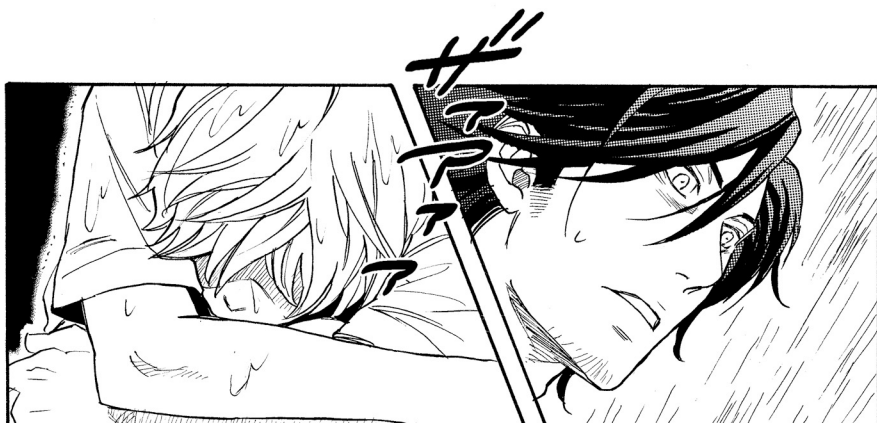


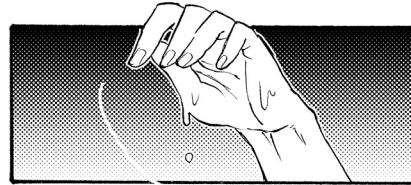
こんなに  
積もったら、重みで  
つぶれてしまうぞ



ト  
ロ  
ッ









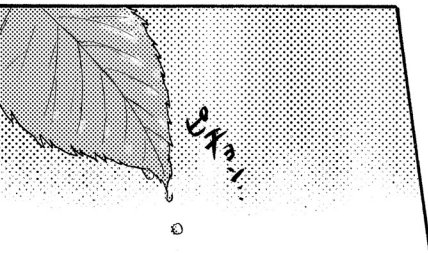
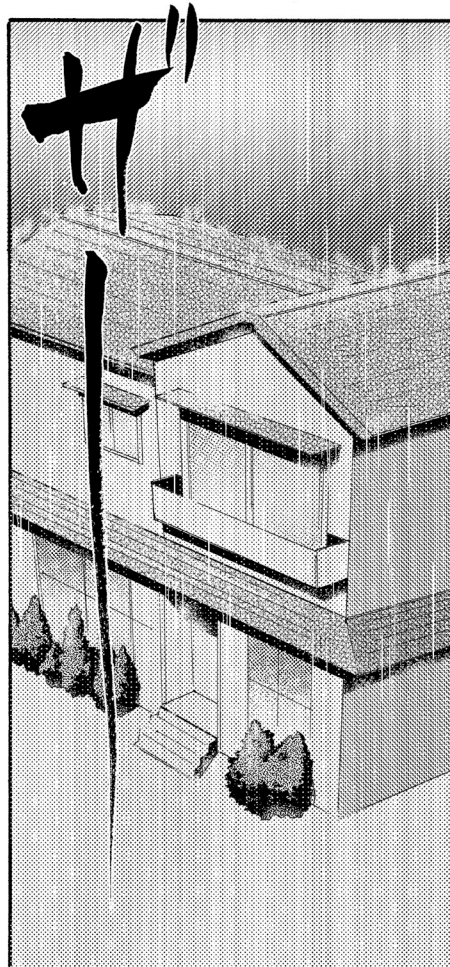
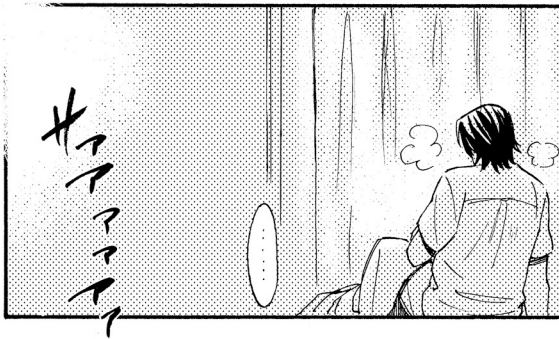
お前…



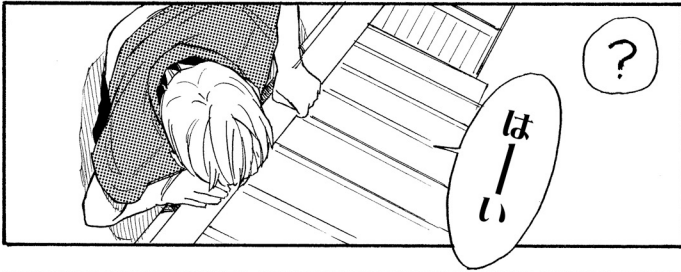
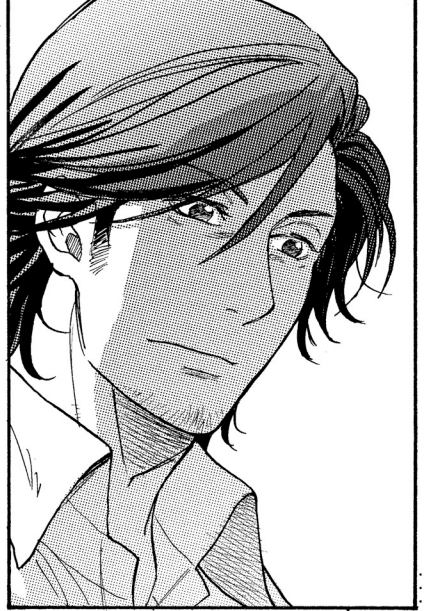
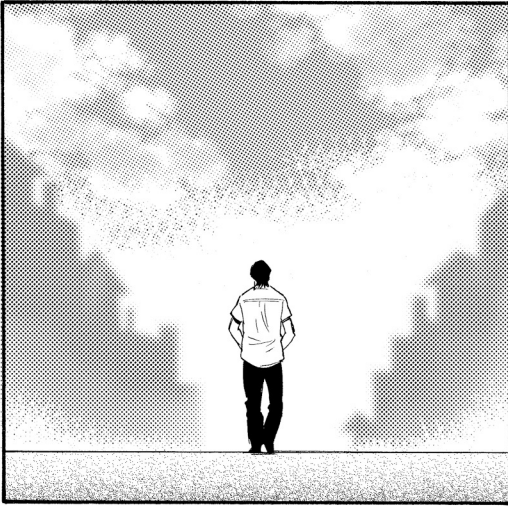
せ…す…







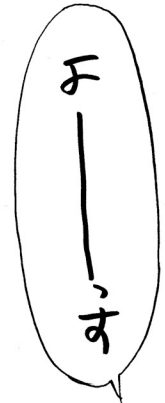




出前：  
頼んで  
ませんが



が  
ち





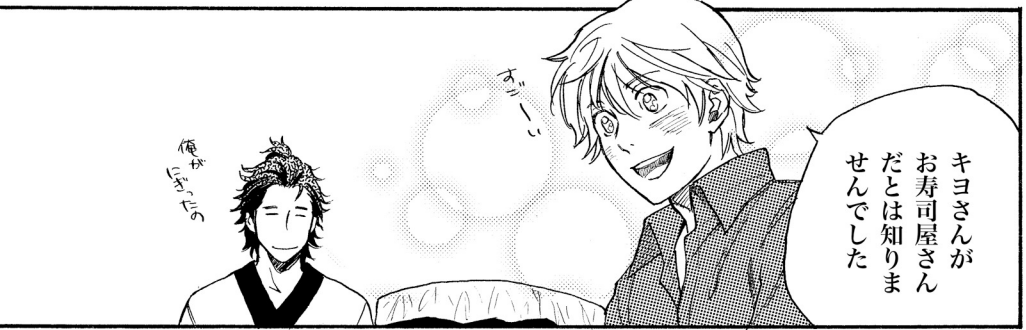
留守番してんだろ？  
差し入れ  
持って来た



俺だよ

ああ…！

キヨさん！



キヨさんが  
お寿司屋さん  
だとは知りま  
せんでした

ぎゅーい

俺が  
じつは



朝食ものを  
通らない  
ようでした

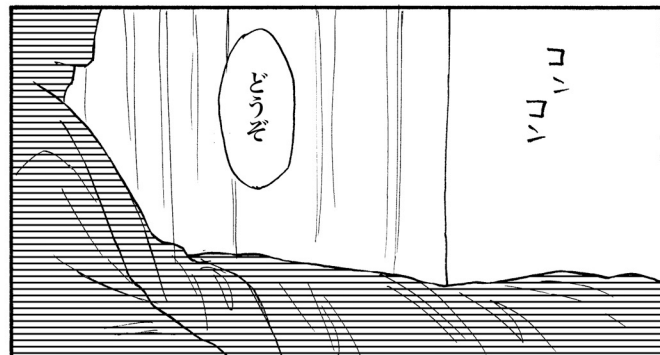
…だろうな

久世さん

いつも飄々と  
してる感じなのに  
今朝はずっと  
難しい顔で…



しし  
し



ガ  
ッ

なんだ…

寿司屋かと  
思ったら  
あんたか

潰さねえで  
やってるようじゃ  
ねえか

昔、

この店は  
とある夫婦が  
経営してた

おかげさまで



二人の間には  
男の子がいて

傍目にも  
幸せそうな  
家族だった



ところが  
ある日、



けれど  
奥さんが事故で  
亡くなって

それからは  
旦那さんが  
男手一つで  
息子を育ててた

その息子が  
家を出たまま、  
帰ってこなくなっ  
てしまったんだ



旦那さんも  
気丈に待ち続けて  
いたけど

とうとう  
身体を壊し  
ちゃってね



Cafe musica  
～心に積もるは君のしらべ～

2

篠原宇月

© 篠原宇月 / 秋水社 ORIGINAL